

石合ゆうたを応援する会  
ゆうゆう通信第13号

2020年4月発行

上田市議会議員 <sup>いしあい</sup> 石合ゆうた市政報告です。

災害復旧作業、新型コロナウイルスへの対応に各所でご尽力いただいている皆様に感謝を申し上げます。

1月臨時会では、令和元年東日本台風により、落橋した別所線の赤い鉄橋の復旧に向け、鉄道災害復旧費として8億6680万円（うち実質97・5%は国が負担）を追加するなどの補正予算を議決しました。



東京都板橋区で365日毎日子ども食堂を運営されているNPOのお話を聞き、視察に行かせていただきました。キーマンの存在、地域の方の応援、行政との連携など学ばせていただくことが多かったです。



市議会主催の災害シンポジウム。各委員会の調査報告、県の危機管理防災課の方の講演、市自治会連合会長さま、市消防団長さまなどのパネルディスカッション。防災に継続的な意識を！



有機農業の振興をめざして超党派の議員で立ち上がった「信州オーガニック議員連盟」に賛同し、参加しました。  
市民の健康長寿や子供たちの健やかな成長を願い、豊かな上田市の自然環境の下で育てられ、遺伝子操作技術や化学物質を使わない安全な農産物を食べられる環境づくりへ。

3月定例会で審査が行われた上田市一般会計当初予算は、台風19号災害の復旧復興、庁舎改築などで新市合併以来最大の750億円超を可決しました。

市長からは令和2年度に向け、台風災害復旧復興に全力で取り組むとともに、気候非常事態宣言を行った長野県に賛同し、地球温暖化問題に対して脱炭素社会の実現に取り組む方針が示されています。

具体的な施策化が進むよう、提言を重ねてまいります。

（討議資料）

別所線の赤い鉄橋を上田市で保有すること、10年間の運行計画を作成することなどを条件に、国補助が受けられるということで、議決しましたが、上田市では経験のない鉄道施設の公有化です。

将来的に大きな負担となっていく可能性もあります。復旧後の別所線の安定的な運行と合わせ、行政・事業者・住民の協同が求められます。

#### 石合議員の一般質問

#### 第五中学校の改築

問（石合）当初予算案には改築関連費用が計上されていませんが、令和2年度の事業計画の内容はどうでしょうか。

答（教育次長）令和2年度に予定する配置計画、基本設計は、市の技術職員が中心となり、国が示す整備指針を基本に、施設の概要を決定していく予定です。

問（石合）今後、市内学校の老朽化・改築も課題となる中、以前上田市は学校校舎の建設の際に基本となる定型的なモデルについて作成の考えを示していますが、状況はどうでしょうか。

答（教育次長）限られた予算の範囲内で施設の整備費用や将来的な維持コスト、維持管理コスト等にも配慮する必要があることから、学校生活に必要な機能は確保しつつ、施設の維持管理が容易に行われるような構造、部材等を積極的に活用するなどして、第五中学校が今後の学校施設整備における標準的なモデルとなるよう事業を進めたい考えです。



改築待たれる第五中学校  
今後の市内学校施設の改築は新五  
中校舎をモデルケースに！

発行：石合ゆうたを応援する会  
発行責任者：中村喜嗣郎  
住所：上田市住吉2863-10  
電話：0268-23-3482  
FAX：0268-55-3561  
メール：[ishiai.yuta.2015@gmail.com](mailto:ishiai.yuta.2015@gmail.com)  
お気軽にご意見をください！

#### 会計年度任用職員制度について

問（石合）上田市では段階的に増額する手当の支給相当額として最終的に3億円から4億円程度の所要額があるとされています。昨年9月議会において上田市議会としても会計年度任用職員制度の導入に伴う財政措置を求める内容の意見書を国に提出しました。

今回制度開始に伴い国の財政措置がされるとの報道等がありますが、その内容はどうでしょうか。手当の段階的な引上げに対応できる額でしょうか。

答（総務部長）必要な財源は、国において一般行政経費等に1,700億円程度を計上することとされています。

上田市の3億円から4億円の増額に見合う財政措置がなされるかは、現時点では不明ですが、市としては、非常勤職員の処遇改善という制度制定の趣旨を踏まえ、必要な経費については責任を持って対応していく考えです。

#### 地産地消の推進と有機農業の振興について

問（石合）学校給食での地元農産物の使用状況のうち、米は100%に近い使用率で推移している一方で、近年の青果物の使用率は2割を割り込んでいるが、要因と地元農産物の使用率を上げるための取り組みはどうでしょうか。

答（農林部長）近年の青果物の使用割合低下の主な原因は、天候不順で特に夏以降にかけた農産物の生産や価格、収穫時期が安定せず、献立の使用日とあわないこと、地元産タマネギを学校給食で利用する取組では、学校給食の規格に合う地元産タマネギの収量が天候不順の影響により伸びなかったことなどが挙げられ、長期保存が可能な米に比べると青果物の使用率を上げるのは容易ではありません。

地元産農産物の使用率を上げるための取組は、生産者に契約栽培的な手法でタマネギを生産してもらい、それを一定期間学校給食で使用する地元産タマネギ利用の取組、旬のカレンダーやJA信州うえだの年間生産計画の部会での共有による献立への反映、生産者から給食の提供までをまとめたDVDの制作による相互理解、部会における定期的な協議などを行っています。

問（石合）持続可能な社会を目指す上で有機農業の振興をどう捉えますか。

答（市長）昨年閣議決定されたSDGsアクションプラン2019において、有機農業、環境保全型農業の拡大が優先課題に位置づけられるなど、持続可能な農業を進める上で今後重要度が増す取組と考えます。課題を整理したうえで有機農業の普及を進めていきたいと思っております。

## 【 近 況 報 告 】

### 【1月】

- 3日 大久保自治会代議員会新年会
- 5日 蛇沢自治会新年総会
- 7日 大久保自治会役員市役所挨拶まわり
- 9日 総務文教委員会所管事務調査、
- 10日 神科商工振興会新年会、連合・労組会議合同旗開き
- 11日 安心の地域づくりセミナー
- 12日 上田市成人式
- 14日 議会運営委員会（傍聴）、松山労組旗開き
- 15日 千曲高校生活福祉科活動報告会、東信5市議会研修会（千曲市）
- 17日 神科自治会連合会総会
- 18日 安心の地域づくりセミナー、山急送様住民説明会
- 19日 上田市消防団出初式
- 20日 全員協議会
- 22日 長野県地方自治政策課題研修会
- 23日 上田地域市町村議員研修会
- 24日 市議会臨時会
- 25日 社民党長野県連合新春講演会、バリアフリーまちづくりの仲間の皆さんと新年会
- 28日 千葉県君津市へ行政視察(台風災害の検証と対策)
- 30日ー31日 市議会観光産業振興議員連盟視察（インバウンド事情について、東京）

### 【2月】

- 1日 安心の地域づくりセミナー
- 3日 鍛冶町地区節分会
- 4日 信州オーガニック議員連盟準備会合
- 8日 農政議連内水面部会講演会
- 9日 安心の地域づくりセミナー
- 10日 上田市東御市真田共有財産組合議会
- 11日 朝日新年会
- 13日 上田市議会主催災害シンポジウム
- 16日 砥石・米山城跡保存会総会
- 19日 毎日子ども食堂高島平（板橋区）、特定非営利活動法人ひな（さいたま市）視察
- 21日 3月定例会開会
- 26日 健康づくりの「泉の会」顔合わせ
- 27日 市議会政策討論会、自治労上田市職労大会

### 【3月】

- 2日ー4日 市議会一般質問
- 6日、9日 総務文教委員会審査
- 7日 バリアフリー調査（観光駐車場前交差点）
- 15日 3区市民連合・上小相談会、大久保ソフトクラブ総会
- 18日 3月定例会閉会、全員協議会、説明会
- 21日 安心の地域づくりセミナー最終回
- 23日 憲法学習会
- 25日 夫婦別姓に関する勉強会、市議会 ICT 議連研修、新人議員勉強会
- 26日 リンクスペース
- 28日 花いっぱいのお会合
- 30日 会派代表者会議（オブ参加）

### 【編集後記】

新型コロナウイルスの影響が甚大です。

実質GDPが2四半期連続で大幅なマイナスに陥ることが予想されるなど、経済状況は大きく悪化しているところに、新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけています。外出の自粛などで個人消費が落ち込み、先行き不透明感から設備投資も鈍くなっています。

安倍首相は、第2弾の緊急対策を説明したうえで、新たな経済対策の策定も念頭に必要な措置をとる考えを示しました。

「実質無担保の強力な資金繰り対策」、「返済猶予」とはいうものの、先行きへの不安が募る中、無利子とはいえ、借金を強要するのではなく、入国制限や学校の一斉休業、イベント等の中止要請にともない経済的損失を直接被った方々にへの補償を含めた救済策を打ち出すことが必要ではないでしょうか。

影響を受ける労働者やフリーランスの国民生活の擁護、窮地に追い込まれている中小・零細、小規模事業者への支援など、大胆な財政出動を求めます。

